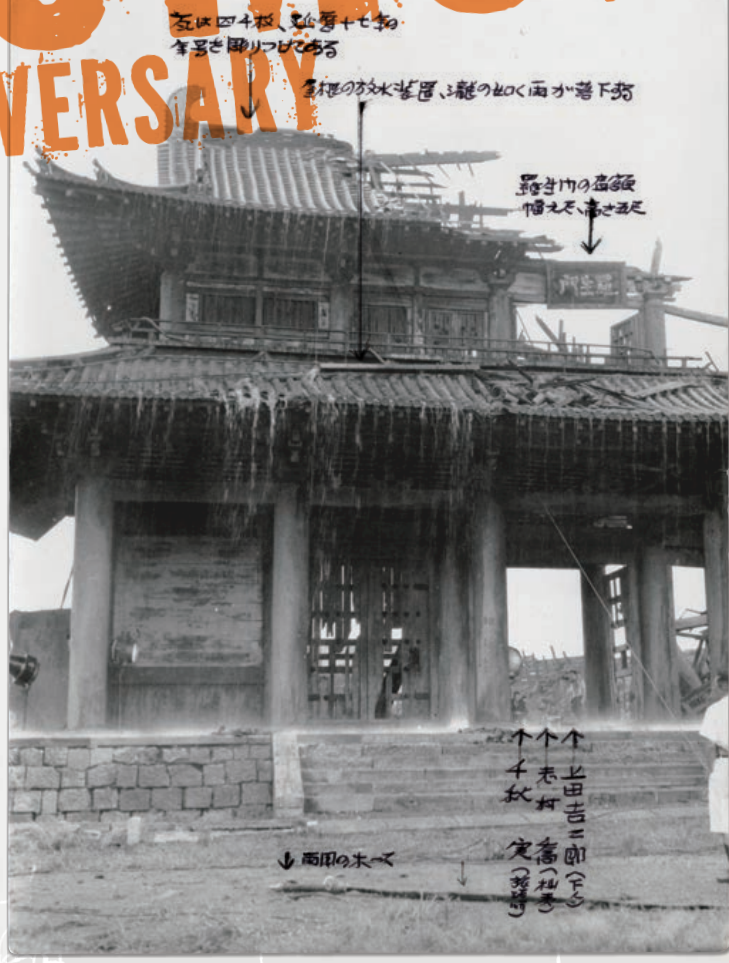
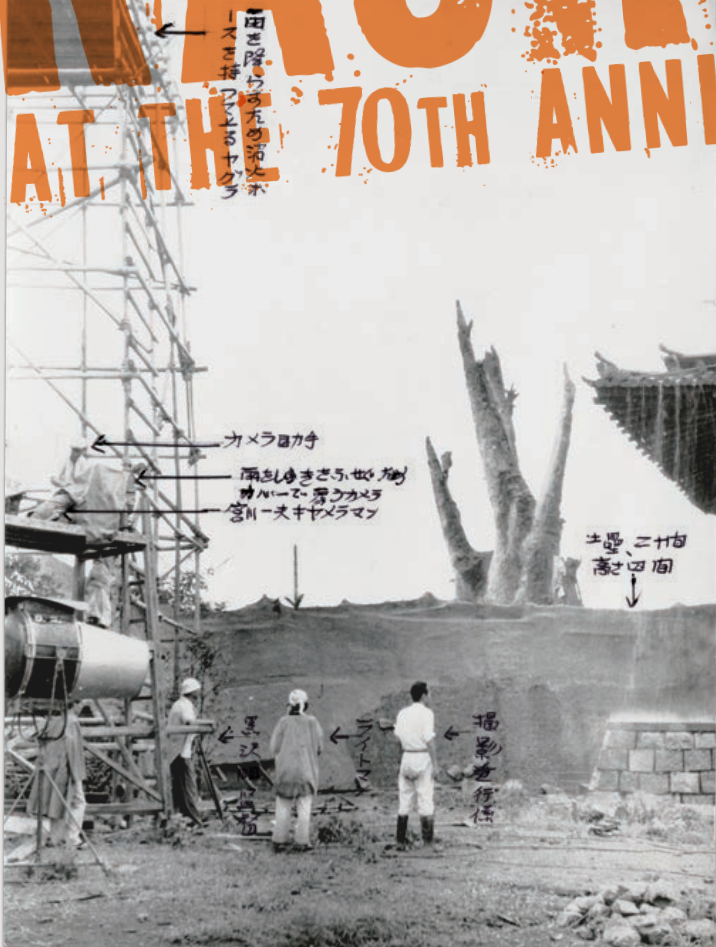


EXHIBITION

# RASHOMON



展覧会

公開70周年記念

# 映画『羅生門』展

2020.9.12 [土] → 12.6 [日] \*月曜日は休室です。

国立映画アーカイブ展示室 (7階)



開室時間: 午前11時～午後6時30分 (入室は午後6時まで)  
 料金: 一般250円 / 大学生130円 / シニア、高校生以下及び18歳未満、障害者 (付添者は原則1名まで)、  
 国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料 \*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。  
 \*学生、シニア (65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。  
 \*国立映画アーカイブの上映観覧券 (観覧後の半券可) をご提示いただくと、1回に限り一般は200円、大学生は60円になります。  
 \*2020年11月3日 (火・祝) 「文化の日」は無料でご利用いただけます。  
 主催: 国立映画アーカイブ、京都府京都文化博物館、映像産業振興機構 協力: 文化庁、株式会社KADOKAWA、株式会社アイ・ティー・ワン  
 国立映画アーカイブホームページ [www.nfaj.go.jp](http://www.nfaj.go.jp)  
 Twitter: @NFAJ\_PR Facebook: NFAJPR Instagram: nationalfilmarchiveofjapan



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当館では換気と清掃の強化、消毒液の設置、スタッフのマスク及び手袋の着用、受付等での飛沫ガードの設置などを行っております。また混雑状況により入館を制限することがあります。

【ご来館の皆様へお願い】 \*37.5度以上の発熱の方は入館をお断りします。 \*発熱や風邪などの症状がある方はご入館をお控えください。またご来館中に体調を崩された場合はスタッフにお知らせください。  
 \*マスクの着用をお願いします。 \*ごまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。 \*入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。また展示室内での会話はお控えください。  
 \*団体でのご入場はできません。 その他、感染症防止に関する当館の指示をお守りいただきますようお願いいたします。 詳しくは当館ホームページをご確認ください。

# 撮影現場、宣伝公開から映画祭受賞、世界への影響まで — 日本映画史上の傑作を徹底解剖!

1950年8月26日に劇場公開された映画『羅生門』は、国内では大ヒットにはならなかったものの、監督黒澤明の芸術的な野心が認められ、1951年9月にヴェネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞、さらに1952年3月に米国アカデミー賞名誉賞を受けることで国際的な評価を確立し、黒澤の、ひいては日本映画の水準の高さを世界に知らしめ、戦後復興のひとつの象徴にもなりました。

『羅生門』は、黒澤の卓越した演出力だけでなく、それまでの日本映画の作り方を革新した数々のスタッフワークに支えられています。登場人物のそれぞれ食い違う証言が真実を覆い隠してしまう橋本忍の脚本術、ロケーションを活かしあえて太陽にカメラを向けた宮川一夫の斬新な撮影、巨大な羅生門をオープンセットとして造形した松山崇ら美術スタッフの功績、日本の中世の物語にボレロ調の旋律を大胆に組み込んだ早坂文雄の音楽、そのような職能のアンサンブルがこの映画の醍醐味となっています。

この展覧会では、世界初展示の品も含めてこうした名スタッフの功績の実際をデジタル展示も用いて紹介するほか、それぞれくっきりとした人物像を創造した三船敏郎・京マチ子・森雅之・志村喬といった名優にも注目、さらにはヴェネチアでの受賞をめぐる当時の資料やこの映画が世界に与えた影響についても触れます。

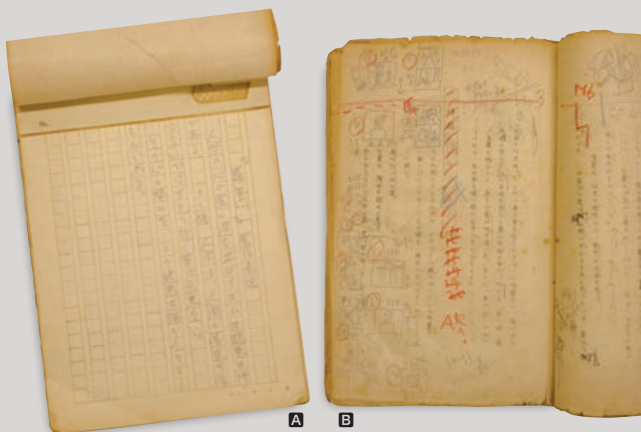
『羅生門』の上映も行われる関連上映企画「生誕100年 映画俳優 三船敏郎」ともにお楽しみください。

Akira Kurosawa's *Rashomon* was released in theaters on August 26, 1950. Although the film was not a major box-office hit in Japan, the artistic ambitions that Kurosawa displayed through it attracted considerable attention. As a result, *Rashomon* earned worldwide acclaim that led to its receiving the Venice Film Festival's Golden Lion in September 1951 and the Academy Awards' Honorary Award in March 1952. The film put the high standards of Kurosawa's work and, by extension, Japanese cinema as a whole on the international map and became a symbol of the nation's post-war reconstruction.

*Rashomon* was the product of not only Kurosawa's extraordinary direction but also a supporting staff that brought revolutionary approaches to conventional Japanese filmmaking. Shinobu Hashimoto's masterful screenplay, in which the characters' contradictory accounts mask the truth. Kazuo Miyagawa's innovative cinematography, distinguished by his use of locations and a camera deliberately pointed at the sun. The outstanding work of Takashi Matsuyama and his staff in building the gigantic *Rashomon* gate on an open set. And the music of Fumio Hayasaka, who boldly wove a bolero melody into a tale set in medieval Japan. The result is an ensemble of professional talents that makes *Rashomon* the masterpiece that it is.

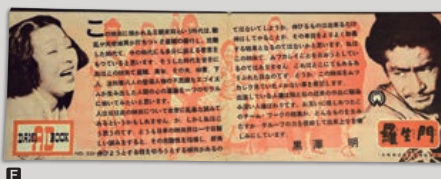
Featuring never-before-displayed items as well as digital exhibits, "Rashomon at the 70th Anniversary" will present a true picture of what *Rashomon*'s distinguished production staff accomplished. It will also give attention to the renowned actors who created the film's distinct characters: Toshiro Mifune, Machiko Kyo, Masayuki Mori, and Takashi Shimura. In addition, the exhibition will display contemporary materials from *Rashomon*'s award-winning screening at Venice and consider the film's impact on the world.

We invite you to enjoy "Rashomon at the 70th Anniversary" together with an associated program, "Toshiro Mifune Retrospective at His Centenary," which will include showings of *Rashomon*.



- A 『羅生門』企画シナリオ  
東映太秦映画村・映画図書室所蔵
- B 野上照代の撮影台本 野上照代氏所蔵
- C 松山崇『羅生門』写真アルバム  
玉川大学 教育学術情報図書館所蔵
- D スタジオ撮影スチル写真 KADOKAWA所蔵
- E 劇場公開オリジナルポスター  
谷田部信和氏所蔵
- F 「DAIEI ADBOOK」No.231 横田寿文氏所蔵
- G アメリカ オリジナル版口ビーカード  
横田寿文氏所蔵
- H 西ドイツ リバイバル公開版ポスター  
[ハンス・ヒルマン作] 横田寿文氏所蔵
- I Paul Anderer, *Kurosawa's Rashomon*.  
横田寿文氏所蔵

表面の図版  
撮影スナップ「羅生門」セットと雨(解説入り)  
当館所蔵/本木荘二郎旧蔵 ヴェネチア国際映画祭金獅子賞トロフィ[複製] 当館所蔵/  
野上照代による画コンテ 宮川一郎氏所蔵



## 展覧会の構成

- 第1章 企画と脚本
- 第2章 美術
- 第3章 撮影と録音
- 第4章 音楽
- 第5章 演技
- 第6章 宣伝と公開
- 第7章 評価と世界への影響
- 特別コーナー 旅する羅生門

## 展覧会公式図録

公開70周年記念 映画『羅生門』  
[監修] 国立映画アーカイブ  
[発行] 国書刊行会  
[刊行予定日] 2020年10月2日  
ISBN: 978-4-336-07060-9  
A4変型判 本体価格: 予価2,400円+税

## 関連上映企画

生誕100年 映画俳優 三船敏郎  
会期: 2020年10月2日(金)~10月22日(木)  
会場: 長瀬記念ホール OZU

戦後日本映画を代表するスターとして豪快な活躍を見せながら、監督、プロデューサーとしても活動し、世界中に多大な影響を与えた三船敏郎(1920-1997)の生誕100年を記念し、『羅生門』の上映も含めてその軌跡を回顧する。

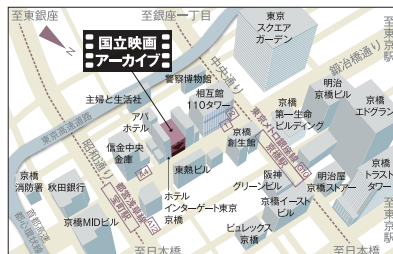
巡回先 京都府京都文化博物館 総合展示室 2021年2月6日(土)~3月14日(日)

※展示内容は一部変更になる場合があります。



長瀬映像文化財団

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6  
お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600  
国立映画アーカイブホームページ  
www.nfaj.go.jp



## 交通

- ▶ 東京外口銀座線橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ▶ 都営地下鉄浅草線町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ▶ 東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- ▶ JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分